

# 農山漁村地域整備交付金の 事後評価について

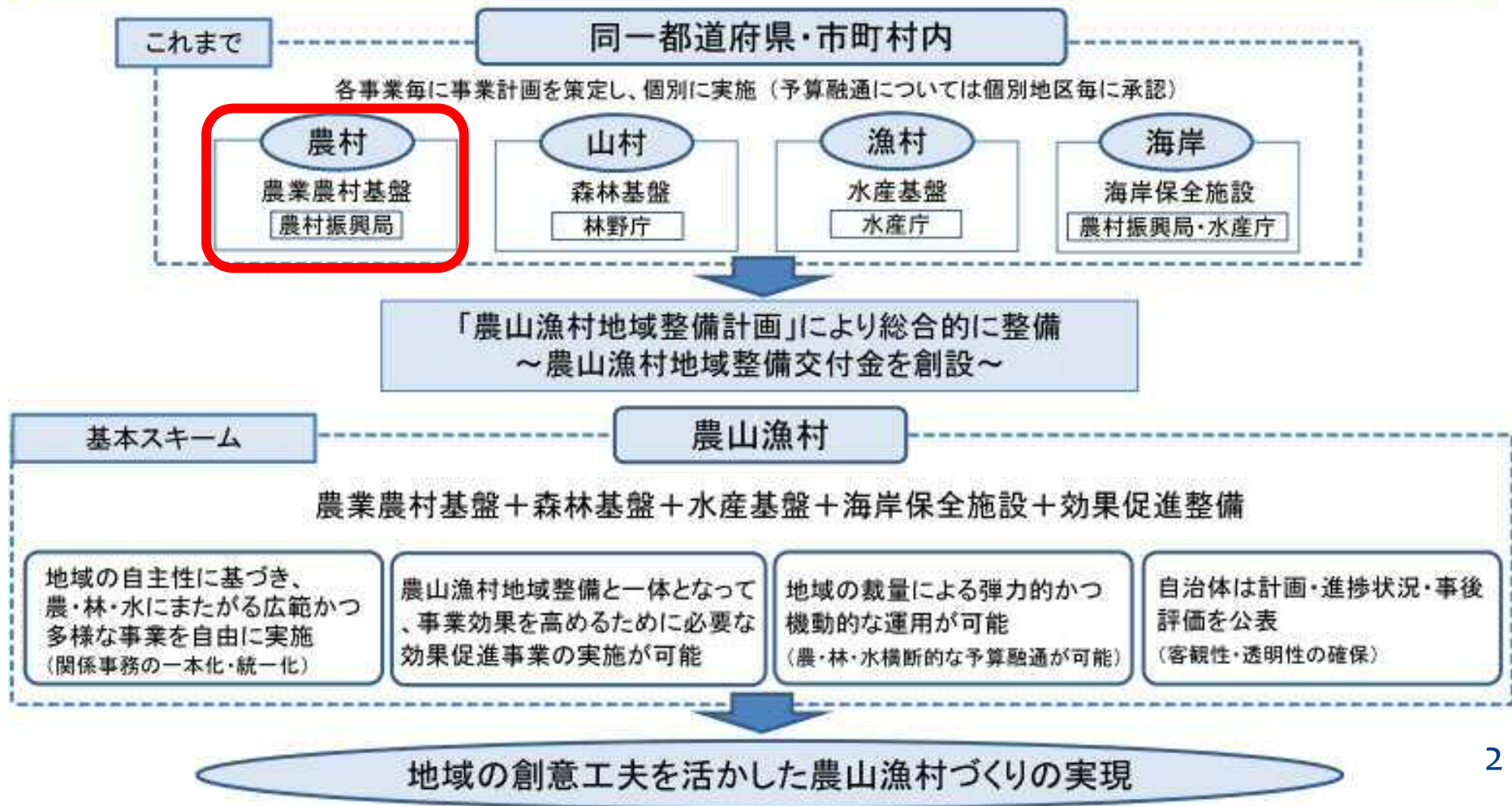
「滋賀県農業・農村振興地域整備計画」

令和2年1月23日

滋賀県 農政水産部 耕地課・農村振興課

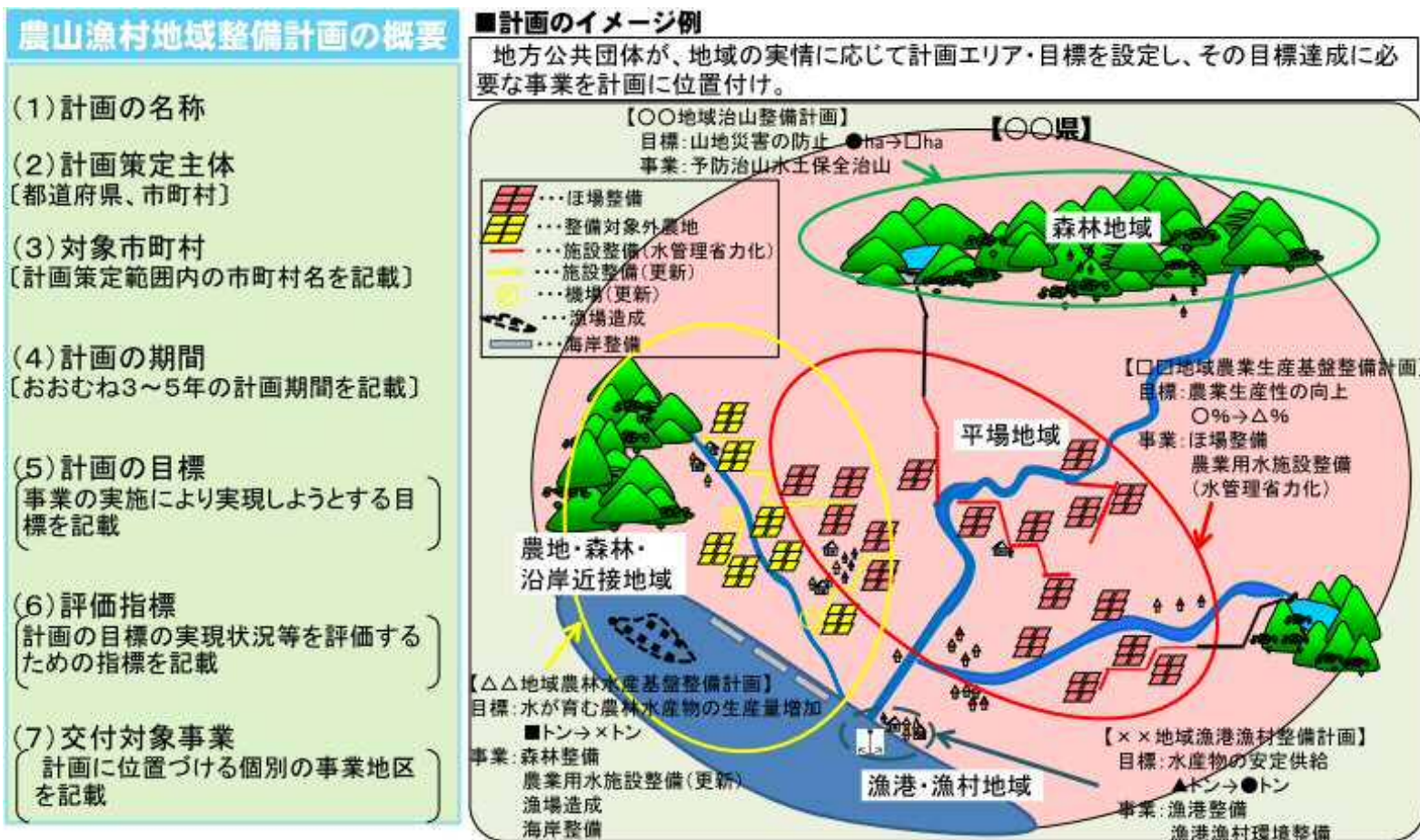
# 農山漁村地域整備交付金の概要

- 地域の創意工夫を活かした農山漁村地域の総合的な整備を進めるため、農業農村、森林、水産の各分野でそれぞれが実施してきた既存制度を抜本的に見直す。
- 自治体が農山漁村地域のニーズにあった計画を自ら策定し、農林水産省の各公共事業を自由に選択できるとともに、自治体の自由な創意工夫によるソフト事業も実施可能な、自由度が高く、使い勝手の良い新たな交付金を創設。



# 農山漁村地域整備計画とは

- 地域の実情に応じた整備が可能となるよう地方の自由度が高い計画策定を基本  
(計画の範囲等は地方で決定)
- 簡素を旨とした計画内容

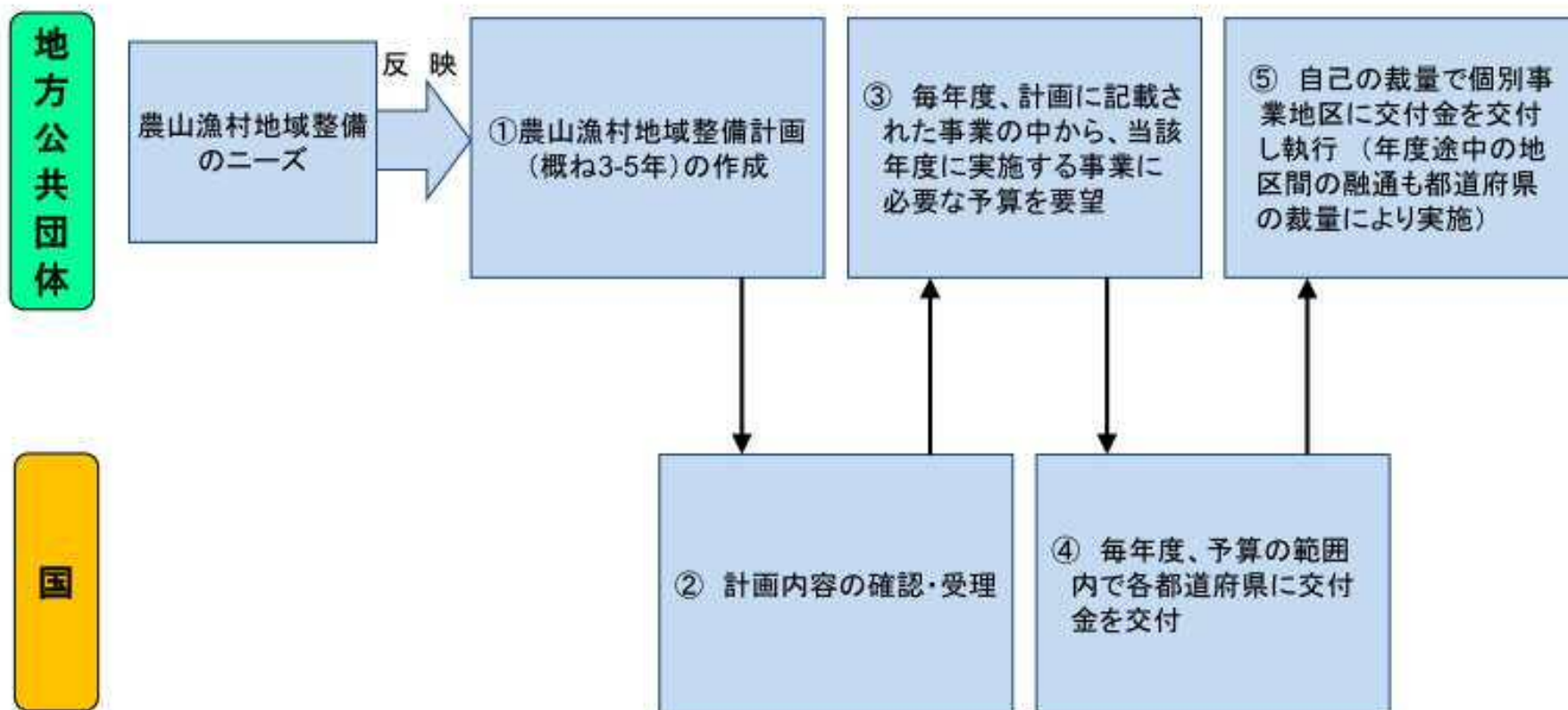


**【今回評価】 名称：滋賀県農業・農村振興地域整備計画  
期間：平成27年度～令和元年度（5年間）**



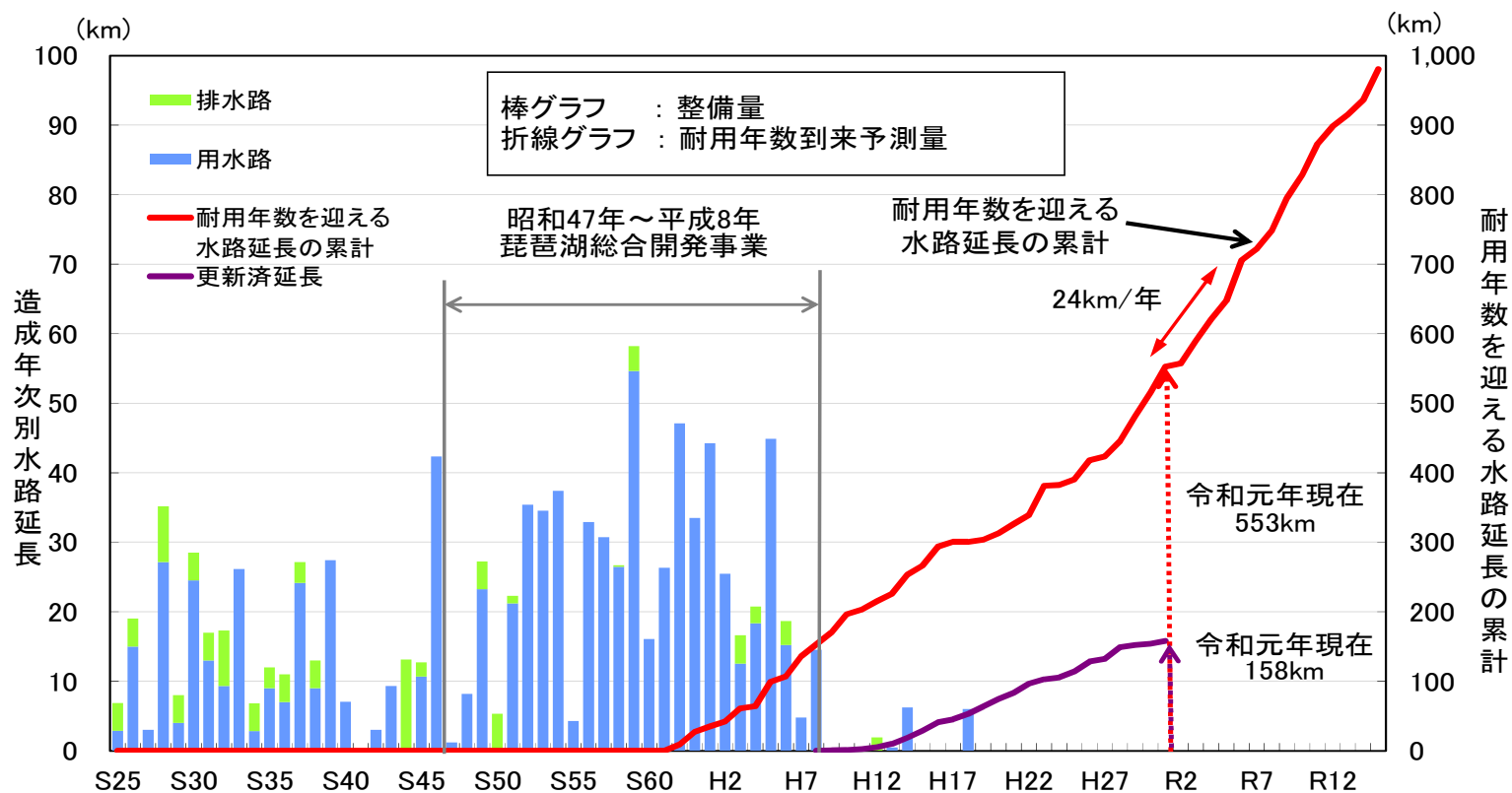
# 農山漁村地域整備交付金の流れ

- 地方の事業ニーズに基づいた「農山漁村地域整備計画」に基づき、国は予算の範囲内で都道府県に交付金を交付
- 都道府県は**自らの裁量**により個別地区に交付金を交付



# 本県の農業生産基盤の現状について

- 本県には、農業用ダムや揚排水機場などが135箇所、用排水路にあっては総延長約13,000kmが存在
- 施設の多くは整備後40年以上を経過し、年々老朽化が進行



図：幹線的な水路の整備延長と標準的な耐用年数が到来する延長の推移（県全域）

- 農業水利施設の老朽化に伴う揚水機の緊急停止や漏水事故などの突発的な事故が頻発
- 特に本県では、琵琶湖から揚水ポンプで圧送する施設が多く、事故が発生すれば、農業生産だけでなく、管を埋設した道路の陥没などにより、地域住民の生活にも影響



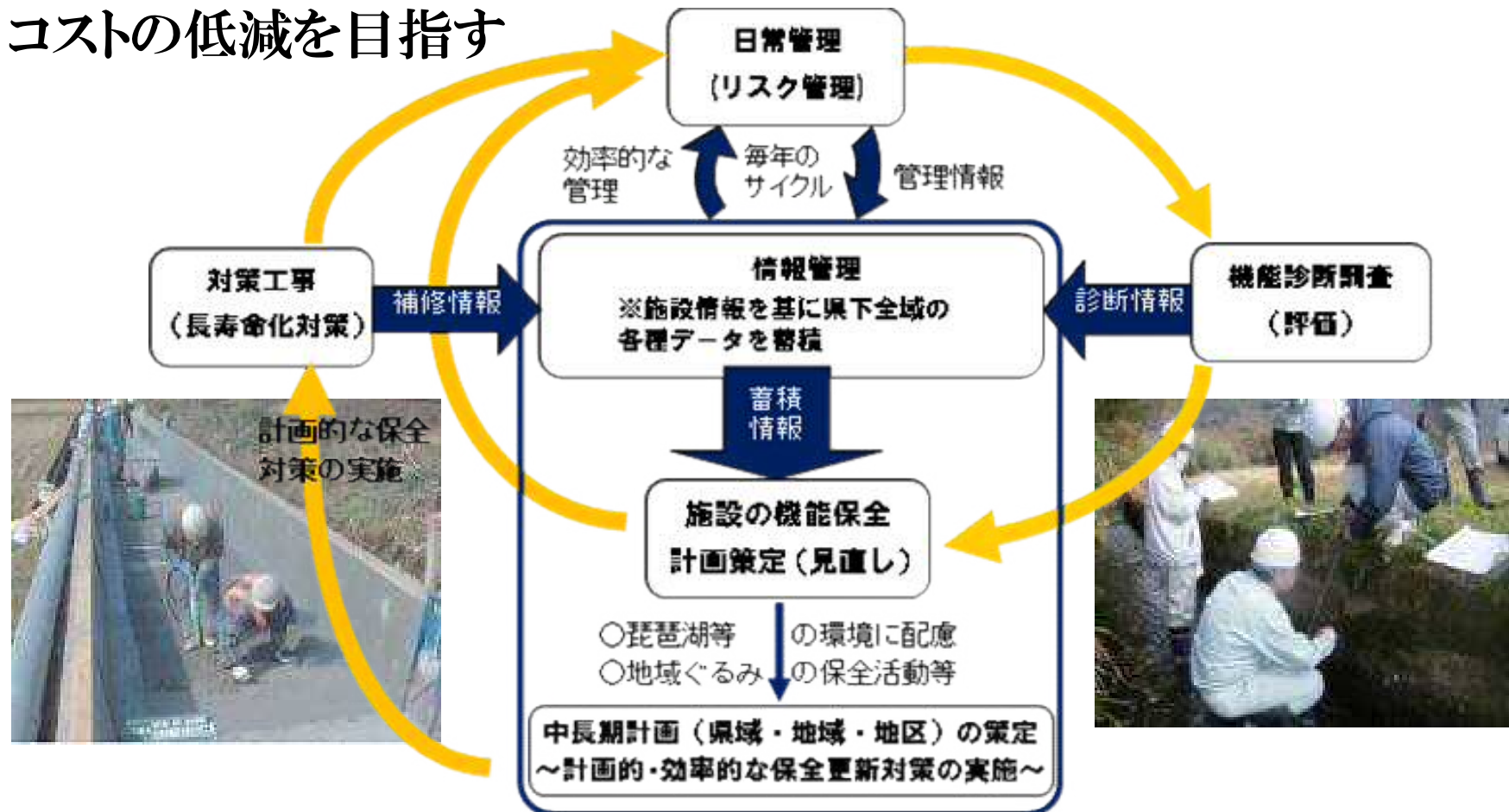
揚水機(高圧電動機)の焼損による緊急停止事故



圧送管破損漏水事故による被害状況

# 「農業水利施設のアセットマネジメント」を積極的に推進

- 施設管理者による日常管理を基本に、継続的にデータを蓄積
- 施設の健全度や重要度を考慮した日常点検と機能診断を実施
- 計画的な予防保全に取り組み、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を目指す



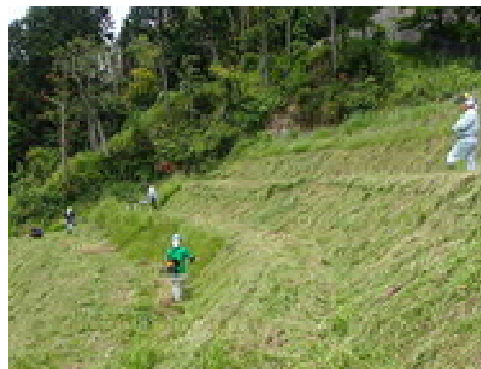


## 本県の農村地域の現状について

- 農業生産を支える農村において、農業者の減少、高齢化、混住化が進行し、集落機能が低下
- 農業者の共同作業が支えてきた農業水利施設等の維持管理体制が脆弱化
- 中山間地域においては、厳しい農業生産条件・生活環境のもとで、耕作放棄地が増加傾向
- その結果、農業・農村の多面的機能の維持が困難



排水路の泥上げ



棚田法面の草刈り



集落内の雪かき作業



# (参考) 農業・農村の有する多面的機能



# 農業農村整備事業について

- 滋賀県農業・水産業基本計画の実現に向け、整備内容や地区のニーズに合わせ関係予算を有効に活用し事業を推進

## 滋賀県農業・水産業基本計画（平成28年3月策定）

1. 力強い農業・水産業の確立
2. 誰もが暮らしやすい活力ある農村・漁村の振興
3. 琵琶湖をはじめとする環境に配慮した農業・水産業の展開

### 【農業農村整備事業関係予算】

農業農村整備事業  
（各種補助事業）

農山漁村地域整備交付金  
（交付金）

# 滋賀の農業・農村振興地域整備計画の概要

## 滋賀県農業・水産業基本計画

1. 力強い農業・水産業の確立

2. 誰もが暮らしやすい活力ある  
農村・漁村の振興

3. 琵琶湖をはじめとする環境に  
配慮した農業・水産業の展開

## 滋賀県農業・農村振興地域整備計画

滋賀県農業・水産業基本計画の実現に向け、整備内容や地区のニーズに合わせ事業を推進

①老朽化した農業水利施設の  
保全・更新

②農業生産基盤の保全整備

③災害を未然に防止するための  
農業水利施設の補強

④生活雑排水処理施設の機能強化

⑤小水力発電施設の整備



## 5つの定量的指標を設定

- |  |          |
|--|----------|
| ① 老朽化した農業水利施設の保全・更新により安定して農業用水が供給されるなど生産性の高い農地が保全される面積 | 530ha    |
| ② 農業生産基盤の保全整備による担い手への農地集積(面的集積率の向上)                    | 13ポイント向上 |
| ③ 災害を未然に防止するため補強する農業水利施設数                              | 1施設      |
| ④ 生活雑排水処理施設の機能強化が図られる施設数                               | 17施設     |
| ⑤ 小水力発電施設の整備により導入する電力量                                 | 51kW     |

## 定量的指標の成果(その①)

「老朽化した農業水利施設の保全・更新により安定して農業用水が供給されるなど生産性の高い農地が保全される面積」

＜目標＞ 計画5カ年で、530haの農地に対する対策を実施

＜成果＞

事業箇所数	主な事業内容	農地面積	
		(目標)	(実績)
14地区	用排水路改修 L=11.9km 水管理施設整備 1式 用水機場電気設備 1式 取水施設改修 1式	530ha	目標達成 530ha

最重点課題として推進した結果、目標どおり530haの農地 (受益地)で、農業用水の安定確保が図れ、生産性の高い農地が保全された。

# 事例紹介(その①)

## 水利施設等整備事業 野洲川沿岸地区(湖南省・甲賀市)

野洲川より取水したかんがい用水の供給施設で、近年、老朽化による漏水等により用水供給に支障を来していたため、安定的な農業用水の確保のため更新整備を実施

整備内容:機能保全対策工事1式  
(用水路改修 L=9,466m)

受益面積:247ha

### 受益者等の意見

水路からの漏水がなくなり、用水が安定供給され、水田を活用した麦、大豆や野菜等の安定生産を図ることができるようになった。

### 今後の課題

維持管理体制を整備し、適切な保全管理に努めたい。



水路トンネルの改修  
(FRPグリッド(強化プラスチック製補強材)の設置)



## 定量的指標の成果(その②)

### 「農業生産基盤の保全整備による担い手への農地集積 (面的集積率の向上)」

＜目標＞ 計画5カ年で、面的集積率13ポイントの向上

＜成果＞

事業箇所数	主な事業内容	25年度末 面的集積率	31年度末 面的集積率	農地面的集積向上率	
				(目標)	(実績)
2地区	区画整理工 A=95.0ha	(平均) 63.5%	(平均) 73.1%	13.3 ポイント	未達成 9.6 ポイント
(集積面積)	(対象 95.0ha)	60.3ha	69.5ha	12.3ha	9.2ha

対象面積95.0haのうち69.5ha(面的集積率73.1%)の集積を図ったが、現在も個別経営体が営農され、目標値には達しなかった。

## 事例紹介(その②)

### 農地整備事業 甲西南部1・2地区(湖南省)

本地区は、ほ場は狭小で不整形、土水路であることから、営農に多大な労力を費やしていた。このため、ほ場の大区画化、水路、道路の整備等により効率的な営農を実現するとともに、営農面では集落一農場方式による集落営農を目指し、農地の集積を実施。

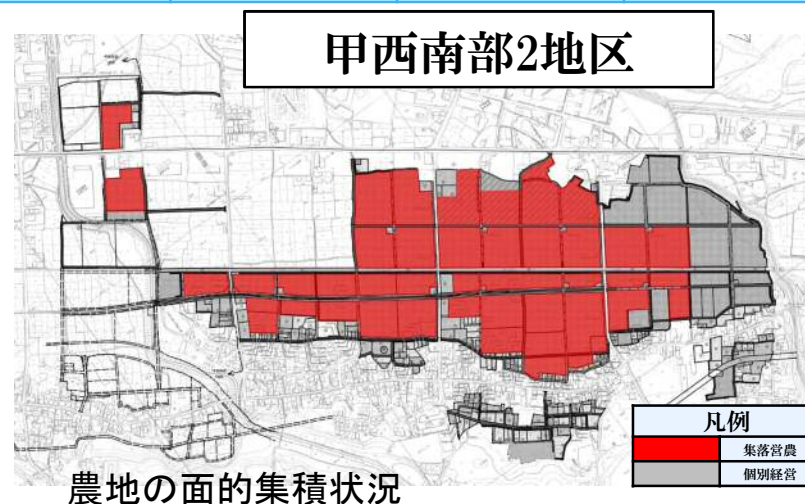
地区名	整備内容	面的集積率		
		実施前	H25	R1
甲西南部1地区	区画整理工 A=50.0ha	0%	63.4%	79.4%
甲西南部2地区	区画整理工 A=45.0ha	0%	63.6%	66.2%

#### 受益者等の意見

事業を契機に、農地を面的に集積できたことにより、営農にかかる労力が軽減された。

#### 今後の課題

集落営農を存続させるために、後継者の育成が課題である。人材の確保を長期的に考えていく必要がある。



## 定量的指標の成果(その③)

### 「災害を未然に防止するため補強する農業水利施設」

＜目標＞ 計画5カ年で、1施設の対策を実施

＜成果＞

事業箇所数	主な事業内容	施設数	
		(目標)	(実績)
1地区	法面保護工 A=4,000m <sup>2</sup>	1施設	目標達成 1施設

永源寺ダムの直下にあるダム取水施設は、下流受益へかんがい用水を供給する最上流部の重要な施設であり、法面の緩んだ部分へ補強対策を実施することにより、上部の法面崩壊による施設の損壊等直接的な被害をはじめ、断水による作物の減産防止を図ることができた。



## 事例紹介(その③)

### 農地防災事業 愛知川右岸地区(東近江市)

永源寺ダム直下にあるダム取水施設および発電施設の敷地において、コンクリート吹付された法面に亀裂・変状が発生し、法面崩壊の危険が生じているため、防災上必要な対策を実施

整備内容:法面保護工 4,000m<sup>2</sup>

被害防止施設:永源寺ダム取水施設  
(用水送水施設)

#### 受益者等の意見

法面崩壊の危険がなくなり、安定的に取水施設の管理をすることができ安堵している。

#### 今後の課題

定期的な監視、適切な維持管理に努めたい。



事業実施後

## 定量的指標の成果(その④)

### 「生活雑排水処理施設の機能強化が図られる施設数」

＜目標＞ 計画5カ年で、17施設の機能を強化

＜成果＞

事業箇所数	主な事業内容	施設数	
		(目標)	(実績)
5地区	施設機能強化対策 1式	17施設	目標達成 17施設

農業集落排水処理施設17施設の機能強化対策を実施し、施設の長寿命化と農村集落の生活環境の維持改善を図った。

# 事例紹介(その④)

## 農業集落排水事業 奥津保第3地区(日野町)

供用開始後20年が経過し、場内機器・制御機器の老朽化が著しい上、管路についても不明水の流入が見られた。このため、施設の長寿命化と安定した処理、適正な維持管理が行えるよう、機器の更新や不明水対策などを実施

### 整備内容： 集落排水機能強化 1式

#### 受益者等の意見

これまで、気象条件によって装置の処理時間が一定でなかったが、機器の機能回復により、処理にかかる時間が安定し、維持管理がしやすくなった。

#### 今後の課題

適切な施設の維持管理を継続する必要がある。



集落排水処理施設の機能強化工事の状況 <sup>20</sup>



## 定量的指標の成果(その⑤)

### 「小水力発電施設の整備により導入する電力量」

＜計画＞ 計画5カ年で、51kWの施設を導入

＜成果＞

事業箇所数	主な事業内容	電力量	
		(目標)	(実績)
2地区	小水力発電施設整備 3施設	51.0kw	目標達成 59.5kW

土地改良区が管理する基幹的な農業水利施設を活用し、小水力発電施設を整備し、維持管理費の低減に加えて、農村地域のイメージアップ、環境意識の向上に寄与した。

# 事例紹介(その⑤)

## 地域用水環境整備事業 湖北地区(長浜市)

農業水利施設の維持管理費の低減や農村の身近にあるエネルギーの活用を図るとともに、低炭素化社会の実現、農村地域のイメージアップなどを期待し、小水力発電施設を導入

### 整備内容:

#### 水力発電施設 1箇所

##### 受益者等の意見

施設を整備したことで、売電収入が得られ維持管理費の低減につながった。今後は、再生可能エネルギーを身近に感じられる施設として環境学習の場に活用したい。

##### 今後の課題

安定的に電力供給を行うために適正な維持管理を継続する必要がある。



令和元年度 完成

## 事業効果の発現状況

- ① 老朽化した農業水利施設の保全・更新対策を実施し、**530ha**の農地で、農業用水の安定確保が図れ、**生産性の高い農地が保全**された。
- ② 農地や水路の整備補修により、農作業の省力化や水田の汎用化が図られるとともに、**69.5ha**の農地が**担い手に面的集積**された。
- ③ **1施設**の法面補強により、**災害被害が未然に防止**された。
- ④ 農業集落排水処理施設**17施設**の機能強化対策を実施し、**施設の長寿命化と生活環境の維持改善**が図れた。
- ⑤ **59.5kw**の電力量を持つ小水力発電施設の整備により、維持管理費の低減に加え**農村地域のイメージアップ**、**環境意識の向上**が図られた。

# 計画の進捗について

- 平成27年度以降、国の定額補助を活用した調査など、新たな地区を順次、本計画に位置づけ、目標達成に努めた。

	当初 (H27年度)		実績見込 (R1年度)		計画と実績の差	
	事業箇所数 (地区)	事業費 (百万円)	事業箇所数 (地区)	事業費 (百万円)	事業箇所数 (地区)	事業費 (百万円)
全体	21	4,053	49	4,347	27	294

- 計画期間内に目標とした定量的指標をほぼ達成し、事業効果を発現した。
- 本計画期間内で継続中の地区は9地区。



## 今後の方針(案)

- 本計画期間内で継続中の地区については、引き続き次期計画に位置づけ、事業効果の早期発現に努める。
- 農業農村整備事業の推進にあたっては、滋賀県農業・水産業基本計画に掲げる重点施策の実現に向け、引き続き、整備内容や地域のニーズに合わせて農山漁村地域整備交付金や補助事業を有効に活用し、計画的な事業の推進に努める。